

姫路赤十字病院だより

Japanese Red Cross Society Himeji Hospital NEWSLETTER

Vol. 32

April
2021.4

contents

PET・コミュニティ棟のご案内

- ・新規半導体 (SiPM) PET/CT 装置
- ・次世代3TMRI装置

診療科の紹介 皮膚科

診療科の紹介 循環器内科

Cooperation Message 地域医療連携室

総合周産期センター研修会を開催

院内防火訓練を実施

看護部研修開催予定一覧

FAX紹介について

がん相談支援センター

採用・退職



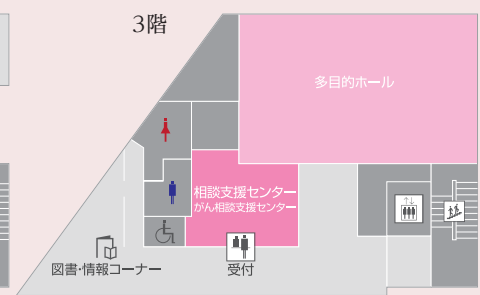
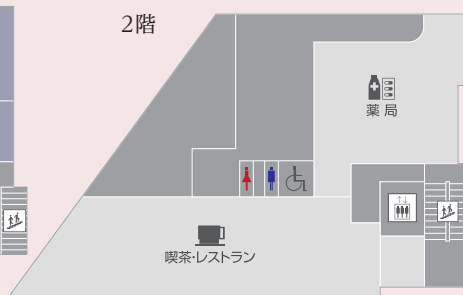
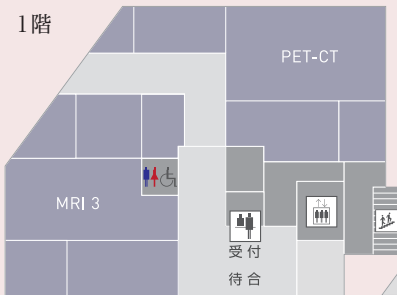


「PET・コミュニティ棟」令和3年6月にオープン!

来院者の方のアメニティ充実と診療機能の強化を目的に、令和2年5月より病院敷地内北西側に新棟の建築工事を進めておりましたが、3月末に完成いたしました。

オープンは、1階放射線科と3階多目的・交流センターは6月に、2階テナントは7月を予定しています。現在、オープンに向け準備を進めています。

建築担当室



建設概要「PET・コミュニティ棟」

1階：放射線科 (PET-CT/MRI)

2階：テナント (喫茶・レストラン/敷地内薬局)

3階：多目的・交流センター (多目的ホール/相談支援センター/図書・情報コーナー)

優れた診断法でがんを早期発見

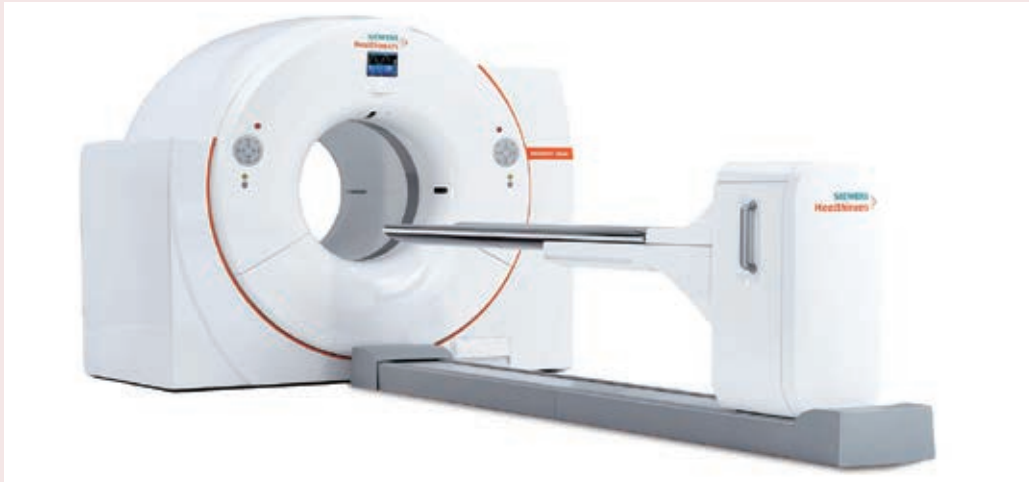
新規半導体(SiPM)PET/CT装置 シーメンス社製 Biograph Visionについて

全国10台目、姫路市内で初の半導体 (SiPM) PET/CT装置 (Biograph Vision) が今回新棟に新しく設置され、本年6月より稼働予定となりました。

日本ではがんの罹患率およびがん死が増加を続けており、その早期発見と治療効果判定に不可欠なPET検査の重要性が増えています。他方、今や検査精度はもちろんのこと、効率性あるいは被験者が感じる快適性の向上も求められる時代です。Biograph Visionは、これらの条件を満たすべく、半導体を用いたPET検出器での刷新による検出感度と空間分解能を高度化したPET/CT装置です。PET/CT装置とは、PETとCTが一体型になった装置で、一度の撮像で全身のPET画像とCT画像を得ることができます。PETのみの画像に比べ、病変の位置とその範囲がより正確に判別でき、CT画像の異常部位についての質的評価ができるなど診断能が向上します。当院に設置予定のBiograph Visionの特長としては、検出器部が半導体仕様で検出器幅が26cmと長く従来に比べて短時間で広い範囲の高画質な画像が得られるようになり、これまでは10mm程度の大きさが限界とされていた病変検出も、5mm程度まで検出できるとされるのが最大の強みです。ガントリー内径は78cmと広く、体格が大きくてもゆったり感じられる設計



で、検査台はリニアモーター駆動でなめらかに動くので、とても静かです。また、撮影範囲をミリ単位で決められるため、不必要な範囲を撮像する事もなく、被ばく低減にも配慮していきます。より多くの患者さんにこの優れた診断法を利用していただこうと考えています。



設置予定装置
ドイツ・シーメンス社製 最新型半導体検出器搭載 PET-CT装置 (Biograph Vision)

より多くの方に快適性の高いMRI検査を

次世代3TMRI装置 Philips社製 Philips Ingenia Elitionについて

2021年よりPET・コミュニティ棟増設に伴い、兵庫県1号機であるPhilips社製の次世代3TMRI装置が新規に導入されます。

これにより、当院は3TMRI装置3台体制でのMRI画像診断となります。今回導入されるPhilips Ingenia Elitionは新開発されたグラジエントシステムを搭載し、さらなる高画質化を実現します。またCompressed SENSEという超高速撮像アルゴリズムを併用することで画質を落とすことなく、撮影時間の大幅な短縮が可能となりました。

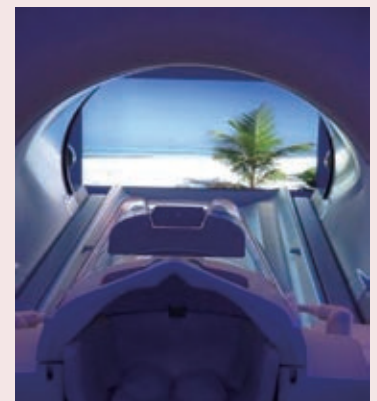


Philips Ingenia Elition



AI呼吸カメラ：Vital eye

従来装置で呼吸同期撮影が困難だった方の検査でもVital eyeという赤外線呼吸監視カメラにて呼吸の動きを感知し、さらにAIを用いて呼吸解析することで、特に意識することなく自然な呼吸で診断価値の高い画像の作成が可能となりました。



映像モニター：Sensa View

閉所が苦手な方の検査に際してはSensa Viewシステムを活用することにより、検査中に大型液晶モニターを通して映像や音楽が鑑賞できるようになり、閉所撮像での心的負担が大きく軽減されます。今回の新機種導入により、より多くの方に高画質で快適性の高いMRI検査が期待できます。



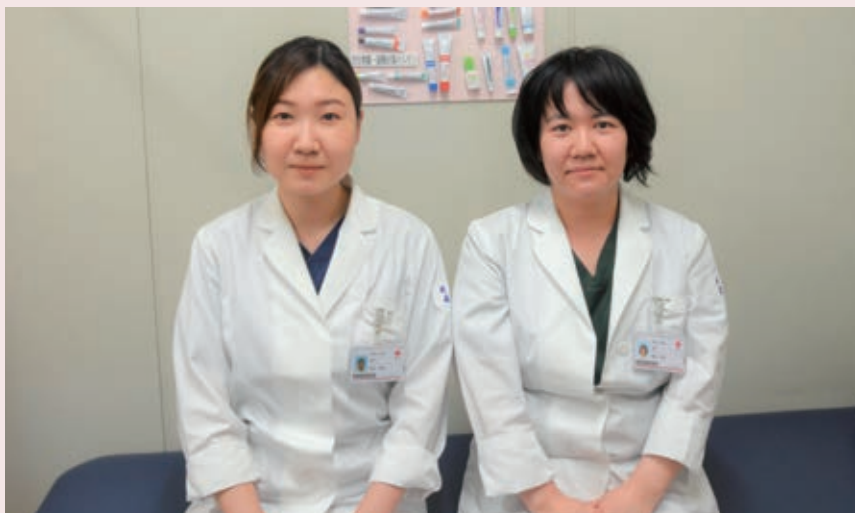
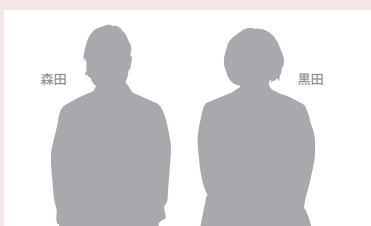
01

皮膚科

スタッフ紹介

黒田 桂子 医師
(平成27年卒/皮膚科一般)

森田 安理 専攻医
(平成28年卒/皮膚科一般)



当科の治療方針

現在当院の皮膚科は2名の常勤医と、週1回の岡山大学からの応援医で日々の診療を行っており、月曜から金曜日まで毎日の外来診療に加え、月曜日の午後に手術枠をとっております。

当科では皮膚科全般の診療を行っております。地域の診療所の先生方から診断が困難なケース・診断はついたものの難治な症例、希少疾患例、重症な皮膚疾患、入院や手術が必要なケース、金属パッチテスト依頼など様々かつ多数の症例のご紹介をお受けしています。

皮膚病変は他人からすれば些細なものであっても、本人の苦痛やストレスは大きい場合もあり、安心して通院頂けるような皮膚科を目指しております。

対象となる疾患はアトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎、慢性痒疹、蕁麻疹、真菌症、带状疱疹、蜂窩織炎、難治性皮膚潰瘍、尋常性乾癬、薬疹・中毒疹、自己免疫性水疱症、抗がん剤や分子標的薬の副作用、皮膚外科症例など多岐に渡ります。診断困難な皮膚疾患は皮膚生検し病理組織学的に診断しています。免疫不全患者の带状疱疹、水疱性類天疱瘡、尋常性天疱瘡、重症薬疹、蜂窩織炎などの皮膚感染症の入院加療もしております。

地域の医療機関の先生方へ

日頃よりたくさんの患者さんをご紹介いただきましてありがとうございます。地域の医療機関の先生方には大変お世話になっております。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。引き続き地域の医療機関の先生方からのご紹介を積極的に受け入れていきたいと考えております。外来は混雑していることも多く、患者さんをお待たせしてしまうこともあると思います。当院のFAX紹介予約制度を是非ご利用いただけましたら幸いです。

現在当科には専門医が不在であり、生物学的製剤の新規導入が困難となっております。大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

皮膚科医師 黒田 桂子



当科の診療について

アトピー性皮膚炎や尋常性乾癬など、皮膚疾患には慢性に経過し精神的なストレスなどで増悪する疾患が少なくありません。患者さんにも自分の疾患と病態をしっかり理解していただきながら、長期にわたって治療に取り組むことが最も大切です。当科では十分な説明をして、病気を理解してもらうことを常に心がけています。アトピー性皮膚炎の治療原則はステロイド外用剤と保湿剤による外用療法を基本として、抗アレルギー剤の内服療法を併用し、また症状に応じた外用指導、生活指導を行うようにしております。尋常性乾癬に対してはステロイド外用剤や活性型ビタミンD3製剤の外用療法を主体に行い、これまでの治療では十分な効果が得られなかった症例にはシクロスポリン内服療法や紫外線療法も行っています。新規の生物学的製剤導入は困難ですが、既存の生物学的製剤使用症例に関しては継続して当科で治療させていただいております。

皮膚科領域では高齢化に伴い皮膚悪性腫瘍が年々増加しています。当院は地域がん診療連携拠点病院を掲げているため、皮膚科でも皮膚がん患者の受け入れを増やし地域のがん治療の中心的役割を果たす必要があります。特に皮膚悪性腫瘍（皮膚ガン）の早期発見・治療に力を入れています。お気軽にご相談ください。拡大切除・センチネルリンパ節生検などが必要な場合は大学病院へ紹介させていただいております。

外来での手術は月曜午後に枠を設けてあり、局所麻酔下で切除できる母斑や腫瘍切除を当科で行っていますが、植皮や皮弁が必要な症例においては当院形成外科と連携し対応させていただいております。



当院ナローバンドUVB



02

循環器内科

スタッフ紹介

向原 直木 第一循環器内科部長
(兼)研修センター長
(昭和58年卒/循環器内科一般)

藤尾 栄起 第二循環器内科部長
(兼)脳・心臓血管センター長
(兼)地域連携副室長
(平成7年卒/循環器内科一般)

幡中 邦彦 第一循環器内科副部長
(兼)心不全・腫瘍循環器部門主任
(平成14年卒/循環器内科一般)

寺西 仁 第二循環器内科副部長
(兼)不整脈部門主任
(平成14年卒/不整脈、循環器内科一般)

飛田 諭志 医師
(平成24年卒/循環器内科)

松本 晶子 医師
(平成25年卒/循環器内科)

山田 智史 専攻医
(平成31年卒/循環器内科一般)

西村 侑太 専攻医
(平成31年卒/循環器内科一般)



2020年診療実績

手術・検査・処置等名

心臓カテーテル検査 (PCI含めない)	498例
冠動脈形成術(PCI)	165例
→その内緊急PCI(急性心筋梗塞)	64例
末梢動脈形成術(PTA)	14例
カテーテルアブレーション	192例
ICD(植込み型除細動器)	6例
CRTD (両心室ペースメーカー機能付き 植込み型除細動器)	2例
CRTP(両室ペースメーカー)	3例
ペースメーカー (新規34・交換10)	44例
下大静脈フィルター留置術	12例
負荷心電図 (マスター、トレッドミル)	1,060例
ホルター心電図 (24時間/303・1週間/411)	714例
経胸壁心エコー検査	7,718例
経食道心エコー検査	65例
心筋血流シンチ検査	479例
肺血流シンチ検査	8例
冠動脈CT検査	184例



当科の治療方針

超高齢社会が進み、人口が減少する中であって、心臓血管疾患患者数は増加しています。

カテーテルを用いたインターベンション治療、不整脈アブレーション治療、植込み型デバイス(ICD、CRT)などの医療技術が進歩し、分子標的治療薬による新たながん診療に伴った心血管合併症が増加しています。循環器内科は、時代にキャッチアップし、虚血性心疾患、不整脈、心不全、心筋症、弁膜症、腫瘍循環器病について、高度・急性期医療に積極的に取り組み、24時間体制で救急診療を行っています(ホットライン 079-298-8531)。

地域の医療機関の先生方へ

いつも多数の患者さんをご紹介いただきまして、誠にありがとうございます。地域の方々と密接に連携し、安心、安全を心がけ、患者さんに寄り添う医療を実践してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

第一循環器内科部長 向原 直木

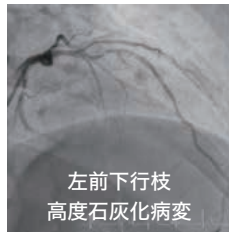
診療内容

①虚血性心疾患治療(主担当 藤尾)

安定した虚血性心疾患に対して血行再建を行う場合は、心筋虚血を証明することが重要です。当科では、以前より心筋虚血の証明においては慎重な姿勢を保っており、運動負荷心電図、心臓核医学検査、冠血流予備能比(FFR)測定などを、患者様に応じて選択し治療方針決定のツールとして用いています。また、2019年度には高速回転アテレクトミー(ロータブレーター)治療認可施設となりました。そして、2020年度にはアテローム切除アブレーション式血管形成術用カテーテル(ダイヤモンドバック)も使用できるようになり、石灰化を中心とした厳しい病変に対しても、より安全に治療できるようになりました。冠動脈の治療後には抗血栓薬が必要となります。他の病院で冠動脈治療を受けられた患者様も日々当院で非心臓手術を受けておられます。術前後の抗血栓薬マネージメントに関しても当科が積極的に関わることで、より安全に手術を受けていただけるよう工夫しています。



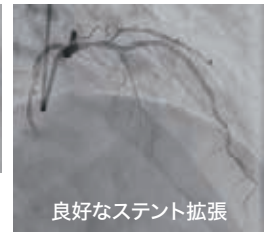
ダイヤモンドバック治療症例：
高度石灰化に対して



左前下行枝
高度石灰化病変



ダイヤモンドバックで
石灰化を切削



良好なステント拡張

②不整脈診療(主担当 寺西)

薬物療法、経皮的心筋焼灼術(カテーテルアブレーション)、植込み型デバイス治療など、不整脈専門医による高度先端医療を行っています。

●経皮的心筋焼灼術(カテーテルアブレーション)

多くの不整脈は、アブレーションや薬物療法でコントロール可能となってきています。

アブレーションは不整脈の根治を目指す治療法で、身体への負担が少なく、不整脈に伴う動悸、息切れ、疲労などの不快な症状が消失します。当科では先進的な機器を用い、あらゆる不整脈に対してアブレーションを行っています。

当院は姫路市・加古川市域内で唯一のクライオ(冷凍)アブレーション認定施設です。

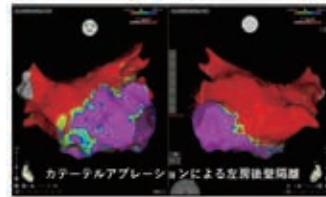
特に治療ニーズの高い心房細動は、年齢を問わず治療させていただいています(入院期間3~4日)。治療成績：心房細動アブレーション後の洞調律維持率(アブレーション平均施行回数/人)は、

- 2018年 93% (1.27回/人)

- 2019年 96% (1.16回/人)

- 2020年 97% (1.09回/人)

と、年々向上しています。心房細動でお悩みの患者さんは是非、当科へご紹介下さい。



●植込み型デバイス治療

当院は、植込み型除細動器(ICD)/ペースングによる心不全治療(CRT)認定施設です。突然死や心不全を予防するための植込み型デバイス植込み術を行っています。

不整脈疾患は、しばしば、心筋症(肥大型心筋症、拡張型心筋症、心臓サルコイドーシス、心臓アミロイドーシス、ファブリー病、二次性心筋症)に合併します。心筋症を早期に診断し、デバイス治療につなぐことで、生命予後の改善が見込めます。勿論、当科では、不整脈疾患のみならず心筋症に対しても、積極的に診断並びに治療に取り組んでいます。

月曜日、水曜日午前の不整脈専門外来まで、ご紹介をお願い致します。

③腫瘍循環器病学(Onco-cardiology) (主担当 幡中)

「腫瘍循環器病学」とは、腫瘍と循環器疾患の両者が重なった領域を扱う、新しい学際分野です。がんは長らく日本人の死因第一位であり、「2人に1人はがんになる時代」と言われています。また、がん治療成績の飛躍的向上により、がん患者さんの生命予後が改善していること(がんサバイバーの増加)と同時に、日本の顕著な高齢化を背景として、一部のがんでは、がんの再発よりも循環器疾患で死亡することが多くなってきました。さらに、がん領域の循環器疾患といえば、以前は抗がん剤による心筋障害や癌による静脈血栓症などが中心でしたが、分子標的治療薬などの新規がん治療薬のいくつかは、非常に高い治療効果を示す一方で、今までとは異なった新しいタイプの様々な心血管系合併症を引き起こし、その後の治療方針や予後に大きな影響を与えています。

当院では、がん治療前の心機能評価、がん治療中に合併する心血管疾患の診断治療、がん性心膜炎による心タンポナーデなどoncologic emergencyへの対応など、腫瘍専門医と循環器専門医が緊密に連携して診療にあたっています。

当院は地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定されています。がん患者さんの治療中に起こる心血管系合併症の診断・治療や、循環器疾患を合併した患者さんのがん治療を円滑に遂行するためのサポートを循環器専門医が行うことで、この地域でのがん医療の質の向上に努めます。



Cooperation Message

地域医療連携室

第46回地域連携カンファレンス報告

令和3年3月18日、「がんゲノム医療の実際」と題し、前回に引き続き、院内職員は会場参加、地域医療機関の参加者はWEBでの視聴、というハイブリッド形式で開催しました。

第一部は甲斐恭平ゲノムカウンセリング室長より「がん遺伝子パネルとは」で、がんに特化した遺伝子変異を調べるがんゲノムパネル検査について講演を行いました。第二部は臨床検査科和仁洋治部長より「提出する組織について」で、実際ががんゲノム医療を行う際の組織の採取方法について説明がありました。第三部は谷口真紀ゲノムカウンセリング係長より「紹介いただく方法について」で、患者さんや地域の先生方ががんゲノム医療を希望した場合、どのような流れで当院にご紹介いただくのか、具体的な方法を案内しました。

北は北海道、南は福岡より計88名の応募があり、とても多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。WEB開催のメリットは、ご自宅でも勤務先でもWEB環境があれば気軽に視聴していただけるところです。今後もWEBセミナー形式での研修会を企画しております。WEBでの視聴を希望される方は、姫路赤十字病院地域医療連携課：chiiki@himeji.jrc.or.jpまでメールでお名前とメールアドレスをお送りください。折返し当日のURLとパスワード等をお送りいたします。今後の研修内容については、随時、ご案内いたします。ご参加お待ちしております。

地域医療連携課



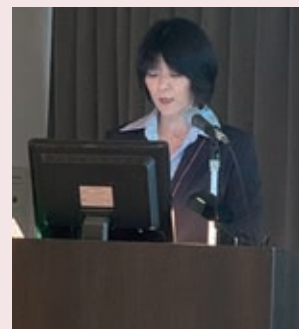
第55回日本赤十字社医学会優秀演題に選ばれて

2019年10月17~18日に広島県で開催された第55回日本赤十字社医学会において発表した演題『入院前転院予約システムの取り組み』が1年の選考期間を経て、優秀演題に選ばれました。

厚生労働省は患者さんの状態に応じて病床機能の分化・連携の推進を打ち出しています。当システムは整形外科の予定入院患者さんが、当院の診療計画に基づき安心して入院加療を行い、必要時はリハビリ病院へシームレスに転院が行えるよう、入院前から患者さんの意思決定支援を行い、チーム医療の推進、病病連携強化を図ることを目的としています。システムはあくまでも退院調整の一手段であり、地域医療連携課としては、患者さんのため、地域のため、病院のために今後もよりよい支援を行っていききたいと思います。

人前で話すことへの苦手意識がまだまだ拭えませんが、この度は大変良い機会を頂き、名誉ある賞を頂いたことに感謝し、医療ソーシャルワーカーとして、社会人としてこれからも精進していききたいと思います。

医療社会事業司 細岡 明喜子





未曾有の状況の中でも一致団結して

総合周産期センター研修会を開催

去る2月25日に第6回総合周産期センター研修会をリモート参加型で開催いたしました。巷では活発に行われているweb会議とはいえ当院ではまだまだ不慣れであり、皆様にはお見苦しい場面をお見せしましたこと、紙面をお借りしお詫び申し上げます。お忙しい中、院内外から50名を超える方々にご視聴いただきました。ありがとうございました。

佐藤四三院長にお言葉をいただいたのち、産科部門、新生児部門からの年次報告に続き『新生児搬送について』と題して上村裕保第二小児科副部長より講演頂きました。過去10年間の診療内容、また一次施設の先生方が一番迷われるであろう『搬送のタイミング』に

ついて、症状ひとつひとつについて具体例を提示しながら説明頂きました。一次施設の難しいところは大多数の正常例の中に異常例が混在していることであり、少ないマンパワーで適切な時期に拾いあげなければならないことだと思います。『何かおかしい』といった先生方、スタッフの方々の気づきなくしては当地域の周産期医療は立ち行きません。産科側からは母体搬送という形になりますが、back transferありきのご紹介も大歓迎です。お気軽にお声掛けください。周産期医療もwithコロナからafterコロナ対応への変換を余儀なくされています。未曾有の状況にセンター一致団結して臨んでまいりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

周産期母子医療副センター長 中山 朋子



入院中の安心を…

院内防火訓練を実施

「2月5日（金）午後6時ごろ 診療棟2階内視鏡センター内で火災が発生した。」という想定で、同日15時30分から休日・夜間体制時の防火訓練を実施いたしました。

これまで実施していた防火訓練では、病棟を中心に訓練を展開し、その際には入院患者役として姫路赤十字看護専門学校の学生の協力も得るなどして約120人以上が参加する大規模な防火訓練を実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の関係から個々の接触を出来るだけ避けるため訓練の参加人数を大幅に制限し、体調管理や消毒等の感染対策は勿論のこと、担送避難訓練では人形を使用するなど、工夫をしながらの訓練となりました。

これからも皆様に安心して来院や入院していただく為にも火災発生時の基本となる「初期消火」「通報」「避難誘導」が迅速に実施出来るように訓練を重ねながら職員の防火意識向上を図ります。

防火・防災管理者 大西 勝彦





研修開催情報

令和3年度 姫路赤十字病院 看護部研修開催予定一覧

※日程は変更する可能性がありますので担当者までお問合せください
 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響から研修会を中止する場合があります
 ※参加の際はマスク着用・体調管理シートの記載をお願いしています
 ※eラーニング導入により、記載している研修が一部受講できない可能性があります

▶レベルI研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
4/9 8:30~9:50	医療者としてのマナーとコミュニケーション	・医療者としてのマナーとコミュニケーション ・看護師としての接遇・コミュニケーションスキル	看護係長	レベルI
4/9 9:50~10:50	与薬①(輸液管理)	輸液管理についての注意点	看護係長	レベルI
4/9 11:00~12:00	輸血療法に関する研修	輸血療法についての基礎知識	看護係長	レベルI
4/13 8:30~10:30	基礎看護技術「褥瘡管理」	褥瘡・褥瘡管理について	皮膚・排泄ケア認定看護師	レベルI
4/13 10:40~11:50	夜勤前の心構え	夜勤前の心構えについて	教育担当部長	レベルI
4/13 12:50~14:50	基礎看護技術「感染予防」	感染予防対策の基礎知識について	感染管理認定看護師	レベルI
4/13 15:00~17:00	医療と診療情報「看護記録」	医療と診療情報について 個人情報保護について 看護記録の記載について	看護係長	レベルI
4/16 8:30~10:30	基礎看護技術「医療安全①」	医療安全について	医療安全管理者	レベルI
5/25 13:30~14:30	基礎看護技術「与薬」	医療用麻薬の取り扱いについて	緩和ケア認定看護師	レベルI
6/8 13:30~15:30	基礎看護技術「フィジカル入門：バイタルサイン」	看護の視点からみるフィジカルアセスメントの基礎知識 バイタルサインの測定方法・アセスメント 事例検討	集中ケア認定看護師	レベルI
6/25 8:30~12:00 13:00~16:30	フィジカル入門③「救急看護(BLSコース)」	急変時の看護 救急蘇生術の基礎知識(講義と技術演習)	小児救急認定看護師	レベルI
7/27 13:30~14:30	看護専門職者としてのリフレクション	リフレクションについて	看護係長	レベルI
8/20 13:30~14:30	フィジカル入門④「食事・排泄」	看護の視点からみるフィジカルアセスメントの基礎知識 食事・排泄	皮膚・排泄ケア認定看護師	レベルI

▶レベルII研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
6/7 13:30~14:30	看護倫理II	倫理の概要について	緩和ケア認定看護師	レベルII
7/15 13:30~14:30	急変症状のアセスメント	脳梗塞の急変症状のアセスメントと初期対応について 抗凝固剤中止時の脳梗塞発症事例について	集中ケア認定看護師	レベルII
8/23 13:30~14:30	看護と診療報酬	診療報酬制度・保健医療福祉の動向・医療経済の仕組みについて	看護部長	レベルII

▶レベルIII研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
6/2 13:30~14:30	研修企画	研修の企画・運営・評価のプロセス/ 研修企画を立案し、全体研修を実践	看護部長	レベルIII
6/22 13:30~14:30	リーダーシップ研修	リーダーシップについて/職場の状況分析と課題解決課程	看護部長	レベルIII
7/13 13:30~15:00	コーチング	後輩育成とコーチングスキル(講義)	看護部長	レベルIII

▶看護補助者研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
6/15 13:30~14:30	感染予防	標準予防策について	感染管理認定看護師	看護補助者

▶専門・認定看護師研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
未定	☆中播磨がん看護事例検討会	地域医療機関の看護師が集まり、事例検討会を実施。 困難事例を通してがん看護を考える。	がん看護専門看護師・ 緩和ケア認定看護師	全体
5/8	☆循環器疾患の看護*初級編* 心電図の読み方と看護①	講義形式の研修 ・モニター心電図について・十二誘導心電図について	集中ケア認定看護師	全体
5/14	小児急変時対応スキルアップコース ~PALS G2015準拠~ ①小児心肺停止時の対応	小児の急変時対応についての6回シリーズコース	小児救急看護認定 看護師・小児科医	全体
6月(日程は未定。 同内容で2回開催)	遺伝性乳がん卵巣がん症候群について	HBOCについて リスク低減手術について	乳がん看護認定看護師 (認定遺伝カウンセラー)	全体



実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
7/2	☆2020年度版 NCPR	2020年度版 NCPRアルゴリズム 事例を用いたNCPRの実践トレーニング	新生児集中ケア認定 看護師	全体
7月(日程未定)	適正抗菌薬について	適正抗菌薬に向けた取り組み	感染管理認定看護師	全体
7月頃	外回り看護(基礎編I)	・概要・術前評価・全身麻酔について・各種モニター	手術看護認定看護師	全体
未定	☆中播磨がん看護事例検討会	地域医療機関の看護師が集まり、事例検討会を実施。 困難事例を通してがん看護を考える。	がん看護専門看護師・ 緩和ケア認定看護師	全体
7/16	小児急変時対応スキルアップコース ～PALS G2015準拠～ ②急変時の初期評価 体系的アプローチ	小児の急変時対応についての6回シリーズコース	小児救急看護認定 看護師・小児科医	全体
7月～10月	認知症ケア研修	認知症の定義ケア事例	認知症看護認定看護師	全体
8/13	☆業務リーダーが押さえる! アセスメント②	・グループワーク形式 ・病棟で起こりそうな場面を提示 ・その事例から患者の状態をアセスメントし、具体的な 看護ケアプランを考え、リーダーとしてのることができる 事を目的に研修をすすめていきます	集中ケア認定看護師	全体

看護師研修、専門・認定看護師研修について 詳しくは http://himeji.jrc.or.jp/kangobu/kyouiku_program.html をご覧ください。

問い合わせ先 姫路赤十字病院 看護部 TEL 079-294-2251(内線3001)/FAX 079-296-4050

患者さんのご紹介はぜひFAX紹介をご利用ください

当院では、地域の先生方と緊密な連携と役割分担を図りつつ、より良い医療を提供していくことで、地域医療の充実を目指しています。

紹介状をお持ちでない患者さんが当院を受診された際は、まず、かかりつけ医を受診していただくようお願いしていますので先生方のご支援を賜りますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちでも直接来院された場合、来院された日に受診出来なかったり、待ち時間が長くなったりとご迷惑をおかけすることがありますので、是非FAX紹介をご利用くださいますようお願い申し上げます。

FAX紹介受付時間 平日 8時30分～19時まで 土曜日 8時30分～12時まで

診察日 原則 1週間以内 *但し、検査・診療科・診療内容により及び
希望日が集中する場合がございますのでご了承ください。

問い合わせ先 地域医療連携課
TEL:079(299)5514(直通) FAX:079(299)5519(直通)

がん相談支援センター

当院では、がんでお悩みの患者さんやご家族の方が安心してご相談いただける窓口として「がん相談支援センター」を設置しております。当院の患者さんやご家族はもちろん、地域の方、当院かかりつけでない方もご利用いただけます。

相談予約 あらかじめ電話でのご予約をお願いいたします **受付時間** 平日 8:30～17:00

病院代表 : 079-294-2251

直通 : 079-299-0037

相談時間 1回60分程度

また、当院2Fエントランスホールの相談支援センターブースでも相談・予約を承っております。



採用・退職

採用医師・退職医師のご案内

【採用医師】

令和3年4月1日付採用



産婦人科
第三産婦人科部長
関 典子
(せきの のりこ)



小児科
新生児科副部長
福嶋 祥代
(ふくしま さちよ)



放射線科
放射線診断科副部長
正岡 佳久
(まさおか よしひさ)



麻酔科
麻酔科副部長
小野 大輔
(おの だいすけ)



内科
医師
尾関 太一
(おぜき たいち)



外科
医師
猿渡 和也
(さるわたり かずや)



泌尿器科
医師
中山 慎太郎
(なかやま しんたろう)



麻酔科
医師
岡崎 結里子
(おかざき ゆりこ)



内科
専攻医
岡崎 右京
(おかざき うえきょう)



内科
専攻医
栗岡 勇輔
(くりおか ゆうすけ)



内科
専攻医
松尾 優
(まつお ゆう)



内科
専攻医
井野 隆之
(いの たかゆき)



内科
専攻医
越智 正彦
(おち まさひこ)



内科
専攻医
齊藤 郁美
(さいとう いくみ)



内科
専攻医
岩谷 太史
(いわた にたいし)



内科
専攻医
西村 侑太
(にしむら ゆうた)



内科
専攻医
藤井 美名
(ふじい みな)



内科
専攻医
山田 智史
(やまだ さとし)



内科
専攻医
山本 淳史
(やまもと あつし)



小児科
専攻医
藤澤 開
(ふじさわ かい)



小児科
専攻医
酒井 善紀
(さかい よしき)



小児科
専攻医
内藤 沙苗
(ないとう さなえ)



小児科
専攻医
中島 薫
(なかしま かおる)



小児科
専攻医
山本 結子
(やまもと ゆうこ)



泌尿器科
専攻医
森田 祥平
(もりた しょうへい)



産婦人科
専攻医
大前 彩乃
(おおまえ あやの)



眼科
専攻医
岡本 興亮
(おかもと こうすけ)



リハビリテーション科
専攻医
山下 勝成
(やました かつなり)



形成外科
専攻医
大森 凜
(おおもり りん)



放射線科
専攻医
太田 圭祐
(おおた けいすけ)



歯科口腔外科
専攻医
長谷川 智也
(はせがわ ともや)



病理診断科
専攻医
西原 千加
(にしはら ちか)

【退職医師】

令和3年3月31日付退職

内科	呼吸器内科副部長	南 大輔
内科	専攻医	松本 和也
内科	専攻医	櫻武 敬真
内科	専攻医	松本 磨依
内科	専攻医	久保田紗矢
内科	専攻医	久保田菜月
内科	専攻医	高橋 直人
内科	専攻医	高原 津
内科	専攻医	武智龍之介
内科	専攻医	山本 洋輔
小児科	新生児科副部長	上村 裕保
小児科	医師	藤原 絢子
小児科	医師	寺崎 英佑
小児科	専攻医	河南 幸乃

小児科	専攻医	清水 彩香
小児科	専攻医	田中 陽菜
外科	乳腺外科部長	渡辺 直樹
外科	医師	金平 典之
外科	専攻医	高橋 利明
外科	専攻医	野木 祥平
泌尿器科	医師	安野 恭平
泌尿器科	専攻医	戸邊 泰将
産婦人科	医師	番匠 里紗
産婦人科	専攻医	武田 和哉
産婦人科	専攻医	牛尾 友紀
眼科	医師	野田 拓志
リハビリテーション科	専攻医	秦 絵莉子
放射線科	医師	蟹江悠一郎

麻酔科	麻酔科副部長	中村 仁
麻酔科	専攻医	山本 綾子
小児外科	医師	宮内 玄德
呼吸器外科	医師	吉川 真生
病理診断科	専攻医	余田 汐莉
臨床研修部(医科)	臨床研修医	石村 昂誠
臨床研修部(医科)	臨床研修医	北池友香子
臨床研修部(医科)	臨床研修医	篠崎真里奈
臨床研修部(医科)	臨床研修医	西田 康平
臨床研修部(医科)	臨床研修医	丸山 真実
臨床研修部(医科)	臨床研修医	吉田 啓太
臨床研修部(歯科)	臨床研修歯科医	上野田 葉
臨床研修部(歯科)	臨床研修歯科医	児玉 彩子